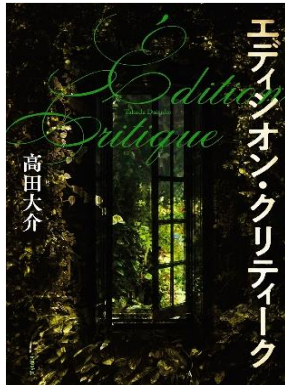


PICK UP!!

お 職員の推し本

エディション・クリティーク

高田 大介 / 文藝春秋



タイトルはざっくりいえば『写本や複本を突き合わせて書籍校訂をすること』だそう。ふすまの裏書の書きつけ、古書店で見つけた上下さかさまに記された紙片など、主人公・真理には意味不明に見える資料も、浮世離れした文献学者である元夫の手にかかればたちどころにその正体を明かされてしまいます。いわゆるミステリーではあるのですが、扱うのは一般人にはあまりなじみのない文献学。正直なところ実に難解。それでもぐんぐん読み進めてしまうのは、個性際立つキャラクターたちと、真理の義母（つまり元夫の母親）の作る実においしいそうな料理のおかげです。さあ、あなたも奥深い文献学の世界、知的探索の旅に出かけてみませんか？

ビジネス名著50選

出川 治明 監修 / 新星出版社

あのビジネス書の書名は知っているけど読んだことがない…。そんな時に役立つのがこの本です。

1万冊以上の本を読んだ著者が、ビジネスに必須の50冊をサクッと学べるように、イラストを交えながらわかりやすく紹介しています。1冊につき最大4ページの紹介で、6つのテーマで名著を厳選していてとても見やすい構成となっています。

こちらの本を読んで、「気になっていたけどまだ読んだことがない」本があれば参考にして頂けると幸いです。

私も気になった本があったので読んでみようと思います♪



ビジネス名著 50選



出口治明監修
見るだけで会話が出来る！
現代の知の巨人が伝授！

よむよむかたる

朝倉 かすみ / 文藝春秋



小樽の古民家カフェ・喫茶シトロンで月に一度開催される読書会。平均年齢85歳の読書サークル「坂の途中で本を読む会」は発足20年を迎えた。記念誌作成に向けて盛り上がる中、それぞれ人の話は聞かず、予定は決まらず、連絡は一度では伝わらず…28歳の新米マスターを巻き込みながらすすめていくことになる。

著者の母親が参加していた読書会の風景がきっかけでうまれた小説だそうです。本を読み、人生を語る。本来は一人でする読書ですが、仲間と語り合う読書もいいですね。サークルの皆さんの北海道なまりの会話が、とってもあたたかく、優しい気持ちになれる小説です。